

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151 (代表)
担当者の所属・氏名：臨床研修部 添田沙織

【研究責任者】

聖路加国際病院血液内科 山下卓也

【研究代表者】

聖路加国際病院 血液内科 山下 卓也

日本医科大学付属病院血液内科 田村秀人

再発難治性多発性骨髄腫に対する

エロツズマブの効果と予後因子の検討

1.研究の対象

2016年11月から2018年6月までに聖路加国際病院血液内科にてエロツズマブを受けられた患者さん

2.研究の目的・方法

研究の目的は、再発難治性多発骨髄腫に対するエロツズマブの効果や予後に関連する因子を明らかにすることです。これによりエロツズマブ投与の適正時期および適正症例を明らかにできる可能性があります。

各研究機関から収集された情報を用いて、聖路加国際病院が統計解析し、エロツズマブの効果、奏効度や予後に関連する因子についての検討を行います。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

研究期間：倫理委員会承認日～2019年12月31日

3.研究に用いる試料・情報の種類

研究に利用する情報としては、以下に示す項目です。

情報：年齢、性別、検査データ、治療歴、エロツズマブの治療効果、無増悪生存期間、全生存期間、等

4.外部への試料・情報の提供

聖路加国際病院で取得したデータは個人情報と切り離れた状態で、研究代表施設日本医科大学血液内科におくられます。なおその際には、データにアクセスできる人は、特定の関係者に制限した状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

<実施代表者>

聖路加国際病院	血液内科	山下 卓也
日本医科大学付属病院	血液内科	田村 秀人

<研究事務局>

聖路加国際病院(添田沙織)、日本医科大学付属病院(田村秀人)

共同研究機関：

聖路加国際病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、日本医科大学付属病院、慈恵医科大学柏病院、湘南鎌倉総合病院、中国中央病院、名古屋市立大学附属病院、新潟県立がんセンター新潟病院、がん研有明病院、都立駒込病院、日本大学医学部附属板橋病院